

韓国の無償給食はなぜ実現できたか 青森市が学校給食無料化へ



米原市民報

日本共産党米原市議員
山脇正孝 Tel.52-1093
日本共産党米原市議員
藤田正雄 Tel.55-1527

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

学校給食無償化の請願は、6月の議会でも不採択となりました。しかし国内では着実に無償化の動きは出てきています。青森市の無償化は中核市の動きとしては特筆されるものです。また韓国の動きはただ単なる学校給食の無償化ではなく、地元の農業者たちと連携、環境にやさしく、健康に役立つ給食など日本の運動に参考になります。FFPJ（家族農林漁業プラットフォーム・ジャパン）での姜さんの講演抜粋です。

市民と共産党の要求

青森市の小野寺晃彦市長は7月21日、市内の小中学校の給食費無償化を10月から実施する方針を表明しました。市によると、小中学校ともに無償化が実現すれば全国の中核市では初めてです。

給食費無料化を求めてきた市民の運動と力を合わせ、市議会でも繰り返し実現を迫ってきた日本共産党市議団の要求が実現しました。

青森市では、2019年5月に結成した「学校給食費の無料化をめざす青森市民の会」が街頭で署名を集め、草の根で運動を広げてきました。行動するごとに無料化の実現を望む市民の声は広がり、22年1月時点で、集めた署名は合わせて6449人になりました。

同会はこれまで3回、毎年12月議会に請願署名を提出。昨年の12月議会では党市議団以外が反対し、請願は市議会でも否決され続けてきました。

市側は、無償化した場合の予算は、本年度分は国からの新型コロナ臨時交付金で賄い、来年度以降も財源を確保し無償化を続ける方針です。

「市民の会」の和田力事務局長は、「願いがかなったことは大変うれしい。青森市が実施すれば、完全無料化は県内で14自治体となります。この流れを県内全

部に発展させていきたい。」と話しました。（しんぶん赤旗7月23日号より転載）

民主主義の決定版

慶熙大学講師姜乃榮さんの講演

韓国の給食は小さな民主主義の決定版と位置づけられ、なかでも学校給食は、親環境無償給食と言われています。

これは、健康と環境、生態的な関係を最優先に考慮し、すべての食材について、生産・加工・流通過程が生産的・持続可能で安全になる給食を実現し、必要とする経費すべてを国または自治体が負担することです。

無償給食は人権です

その根拠は、韓国の憲法31条3項に「義務教育は無償にする」と書かれており、無償給食は義務教育の一部と位置づけられ、普遍給食または国民給食と言いつても構いません。

その具体的な中身は、自治体の条例でも、放射線ゼロ、非遺伝子組み換え、ローカルフード（在来種農産物使用）が規定され、ソウル市教育庁は5無食（残留農薬・放射能・抗生剤・化学合成添加物・遺伝子組み換えのない給食）を定めています。

韓国の学校給食無償化の歴史

雑感 旧統一協会（現世界平和統一家庭連合）と自民党を中心にして政党との癒着が問題となっています。大学では正体を隠してサークル活動に学生を引き込み、靈感商法で信者から莫大な献金を強引し、資金力で日本の政界に食い込み、また選挙で恩を売り、政策を左右する存在となっています。特に選択的夫婦別姓、LGBTQの人権問題に反対の発信も行っており、自民党も政策的に呼応するものとなっています。米原市議会でも選択的夫婦別姓とは異なる意見書も採択されています。このような反社会的宗教が政策をゆがめているとしたら許せない。

韓国では、2002年に「学校給食全国ネットワーク」が結成されました。そのきっかけは、学校の民主化運動と農民運動が出会い、学校給食運動が本格化したことでした。2002年4月27日に「学校給食全国ネットワーク準備委員会」結成に結実しました。

農民運動の分野では、「私たちの米を守る農業回生連帯100人1000日リレー」というキャンペーンとして、学校給食に地場産農産物使用の制度を求める運動を行いました。

2002年7月19日に当時の民主労働党が主催して学校給食法を改正するための討論会が実施され、農協調査部、給食ネット準備委員会、全国教職員労働組合、真の教育学父母会、農業回生連帯などが参加し、全国レベルのネットワークが発足したのです。

地域でのワークショップも盛んに行われ、給食運動参加要請の文書には、「子どもたちに健康を！われら農業に希望を!!」というスローガンが掲げられました。これは、子どもたちの幸福権、健康追求権などの基本権はもちろん、学習権、自治権の保障を満たし、学校給食改善の実現を通じて子どもたちの人間基本教育を学校主体で主導的に行い、社会的な合意を得ようとするものです。

（農民連機関紙「農民」7月25日号より）

